

様々な研修を通して、スペシャリストを育成。

税関では、職員のキャリアパスに応じて、税関行政全般に関する知識や技能等の修得、業務遂行能力の向上等を図る研修制度が充実しています。

◆総合研修

研修制度

採用

採用研修

係員

中等科研修

新任係長級研修

係長級

高等科研修

新任課長補佐級研修

課長補佐級

新任課長級研修

課長幹部級

①新規採用職員研修

税関に採用されると、税関で仕事をする上で必要な知識、技能等の基本的な事項を修得するとともに、公務員、税関職員としての自覚を身に付けることを目的とした新規採用職員研修(以下「採用研修」という。)を受講することになります。採用研修は、全国の税関で採用された職員全員が千葉県柏市にある財務省税関研修所に入所し、一般職(大卒程度)であれば約2ヶ月半、一般職(高卒者)であれば約5ヶ月半、共に学び、生活することとなります。



①税関研修所外観
②採用研修では敬礼等の基本動作の習得も行います。
③研修中は旅具通関等のロールプレイも行います。
④講義風景

研修内容

研修期間

一般職(大卒程度)4~6月中旬(約2ヶ月半)予定
一般職(高卒者)4~9月中旬(約5ヶ月半)予定

研修カリキュラム

- | | |
|-----------------|---------------|
| ■専門科目 | ■一般科目 |
| ・税関実務 | ・行政関係法令 |
| 監視取締、旅具通関、通関手続、 | ・公務員法 |
| 事後調査、犯則調査 等 | ・英会話 等 |
| ・税関関連業務 | ■実技科目 |
| 他法令手続、国際テロ対策、 | ・武道 |
| 麻薬取締、銃砲取締 等 | 柔道、剣道、 |
| ・貿易実務 | 合気道(一般職女性のみ※) |
| ・簿記 | ※ 大卒程度 |
| ・NACCS業務 等 | ・職場実習 等 |

②中等科研修

採用後の在職年数が、一般職(大卒程度)であれば4年、一般職(高卒者)であれば8年経過した職員は、税関行政全般に関する知識及び技能を修得することを目的とした中等科研修を、財務省税関研修所で受講します。

③高等科研修

係長相当職に任用後1年以上経過した職員のうち、勤務成績が良好な職員は、税関行政全般に関する高度な知識及びその応用能力を修得するとともに、幅広い視野、適格な判断力等を身に付け、業務遂行能力の向上を目的とした高等科研修を、財務省税関研修所で受講します。(選抜制)



◆専門研修

高度な専門知識・技能を有する職員を育成するために、さまざまな研修を実施しています。

○専門事務／取締技法、品目分類、原産地規則、関税評価、知的財産、事後調査、犯則調査、
関税技術協力等の各分野において必要な専門知識及び技能の修得や専門家の
育成を行います。

○語 学／英語、中国語、韓国語、ロシア語の外国語能力を修得するため、専門の外国語教
育機関による研修を行います。
また、職員の語学レベルに応じて初級から上級まで用意されています。

○その他／大学院へ派遣する研修、総務省、国税庁、検察庁、警察庁等が主催する研修等

◆管理者研修

それぞれの役職(係長級、課長補佐級、課長級)ごとに、管理者としての能力の向上のため管理者
研修が行われます。また、女性職員を対象としたキャリアデザイン研修も行われています。



語学研修

大阪税関関西空港税関支署統括監視官(取締部門担当)付

藏野 恭平

平成26年一般職(大卒程度) 行政

依然として多く、私の所属する取締部門でも、中国人の乗組員や航空会社職員に対し、職務質問や情報収集を行うため中国語で会話する機会が多々あり、研修で学習した中国語や質問フレーズを利用することで円滑に業務を行えています。

税関では、中国語の他にも、英語や韓国語などといった多様な語学研修を受講することが可能です。また、学習状況に応じて複数回研修を受けることもできるので、学習の継続もしやすく、ゼロからでも語学学習に取り組みやすい制度が用意されています。

もし「税関業務に興味はあるが、語学に自信がない」と不安に感じていても全く心配する必要はありませんので、ぜひ税関職員として、日本の安全を守っていきましょう!



大学委託研修

東京税関調査部情報分析室調査官(大阪税関採用)

辻 孝辰

平成24年II種 電気・電子・情報

し、そのような経験を通して、データサイエンスの知識だけでなく、難解な論文でも粘り強く読もうとする力や、苦難を共に乗り切った同期の方々との繋がりという大きな財産を得ることができました。

また、データサイエンスは実践経験を通して初めて身に付くものを感じています。これからは大学院での学びを活かしてデータ分析による課題解決の経験を積み、「データサイエンスで税関を変えてやる!」という気概で、日々自己研鑽に励みたいと考えています。これを読んで興味を持っていたい方、ぜひ一緒にデータ分析で未来の税関を作り上げていきましょう!

